

## 福祉系高等学校等、特例高等学校等報告書

### 1 施設の概要

平成 30 年 5 月

(1) 高等学校等の名称	北海道剣淵高等学校 総合学科					
(2) 高等学校等の所在地	〒098-0338 北海道上川郡剣淵町仲町 2 2 番 1 号					
(3) 設置者	名 称	剣淵町				
	代表者氏名	早坂 純夫				
	所在地	〒098-0392 北海道上川郡剣淵町仲町 3 7 番1号 剣淵町役場				
(4) 種類等	種 類	1 学年 の定員	学級数	1 学級 の定員	修 業 年 限	
	該当番号 ( ) <input checked="" type="radio"/> 全日制 <input type="radio"/> 定時制・通信制	2 4	1	2 4	3	
(5) 校長の氏名	西 川 勤	(6) 開設年月日		平成 2 1 年 4 月 1 日		
(7) 必置教員の人数	5 人	(8) 実習施設の数		実習 I	在宅その他 1 8 施設 入所施設 3 6 施設	
				実習 II	在宅その他 1 施設 入所施設 1 5 施設	
						在宅その他 0
						入所施設 0
(9) 実地研修の実施の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>		(10) 実地研修の施設数			
					在宅その他 0 入所施設 0	
(11) 情報開示の状況	ホームページによる公表		( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ) <a href="http://business4.plala.or.jp/kenko/">http://business4.plala.or.jp/kenko/</a>			
	その他の方法による公表		【情報開示の方法：学校案内】			
(12) 専任事務職員氏名	中上 充	(13) 連絡先		T e l : 0 1 6 5 - 3 4 - 2 5 4 9		
				F a x : 0 1 6 5 - 3 4 - 2 6 9 4		
				E-mail : kenko@bz01.plala.or.jp		

- (注) 1 当該年度 4 月 1 日現在の状況を記載すること。  
 2 「(1) 高等学校等の名称」には、指定を受けている課程・コース名まで記載すること。  
 3 2 以上の課程を設置している高等学校等においては、本表を含め、すべて別様式とすること。  
 4 「(4) 種類等」には、次の高等学校等の種類ごとに掲げる番号を記載するとともに、該当する課程の形態(全日制等)を「○」で囲むこと。  
     ・ 法第 40 条第 2 項第 1 号の規定による高等学校等であって、専攻科及び別科でない場合は「①」を、専攻科(修業年限が 2 年以上)の場合は「②」を記載する。  
     ・ 法附則第 2 条第 1 項の規定による特例高等学校等であって、専攻科及び別科でない場合は「③」を、専攻科(修業年限が 2 年以上)の場合は「④」を記載する。  
 5 「(8) 実習施設の数」における「在宅」には通所介護事業所・特定施設入居者生活介護事業所等が、「施設」には介護老人保健施設・障害者支援施設等が含まれること。なお、実習 I 及び実習 II の両方を行っている実習施設については、実習 I 及び実習 II のいずれにも計上すること。  
 6 「(11) 情報開示の状況」には、「福祉系高等学校等の設置及び運営に係る指針について(平成 20 年 3 月 28 日 19 文科初第 1403 号・社援発第 0328004 号)」に定められた内容すべてについて、ホームページを用いて公開している場合に「有」を「○」で囲むこと。  
     また、その他の方法により情報開示を行っている場合には、その方法を記載すること。

## 2 当該年度の学年別生徒数等

### (1) 当該年度の入試状況

第1学年の 入学定員 【a】	受検者数	合格者数	入学者数 【b】	充足率 【b/a×100】
40	32	30	32	80

- (注) 1 「受検者数」には、受験申込を行った者のうち、受験者の人数を記載すること。  
 2 「入学者数」には、入学手続を行った者のうち、当該年度5月1日時点までに入学を辞退した者を除いた人数を記載すること。

### (2) 学年別生徒数

学年	各学年の定員	在籍者数
第1学年	24	10
第2学年	24	13
第3学年	24	9
第4学年	—	—
合計	88	54

- (注) 1 本表は、当該年度5月1日時点の状況について記載すること。  
 2 単位制による課程の生徒については、在学すべき期間をもって便宜相当する各学年の欄に記載すること。  
 3 「在籍者数」には、留年者・編入者等を含むこと。

### (3) 生徒1人あたりの負担金

費目	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	合計
入学検定料	2,200				2,200
入学金	5,650				5,650
授業料	0	0	0	—	0
実習費	—	—	—	—	—
施設維持費	—	—	—	—	—
その他諸費	—	—	—	—	—
合計	7,850	0	0	—	7,850

### 3 前年度における教育の実施状況等

(1) 法第40条第2項第4号の規定による福祉系高等学校等（専攻科及び別科を除く。）

(1年次)

教科	科目	指定規則上の単位数	学則上の単位数【a】	実授業単位数【b】	学則上の単位数との差【b-a】
福祉		単位	単位	単位	単位
	社会福祉基礎	4	2	2	0
	介護福祉基礎	5	—	—	—
	コミュニケーション技術	2	2	2	0
	生活支援技術	10	—	—	—
	介護過程	4	—	—	—
	介護総合演習	3	—	—	—
	介護実習	13	—	—	—
	（介護実習Ⅰの計）	—	—	—	—
	（介護実習Ⅱの計）	5単位以上	—	—	—
	こころとからだの理解	8	—	—	—
	小計	49	4	4	0
公民、数学、理科 又は家庭	人間と社会に関する選択科目 (科目名：数学Ⅰ、家庭基礎)	4	5	5	0
	小計	4	5	5	0
	合計	53	9	9	0

(注) 1 本表は、各学年ごとに作成すること。

2 「学則上の単位数」には、学年ごとに組まれた授業科目の単位数を記入すること。なお、当該学年で行われなかった授業科目の「学則上の単位数」、「実授業単位数」には、「—」を記入すること。

3 各科目の単位数は、1単位時間を50分とし、35単位時間の授業を1単位として計算することを標準とする。

4 「実授業単位数」には、自習時間等を除いた単位数を記載すること。

(2年次)

教科	科目	指定規則上の単位数	学則上の単位数【a】	実授業単位数【b】	学則上の単位数との差【b-a】
福祉		単位	単位	単位	単位
	社会福祉基礎	4	2	2	0
	介護福祉基礎	5	2	2	0
	コミュニケーション技術	2	—	—	—
	生活支援技術	10	5	5	0
	介護過程	4	—	—	—
	介護総合演習	3	2	2	0
	介護実習	13	6	6	0
	(介護実習Ⅰの計)	—	(6)	(6)	0
	(介護実習Ⅱの計)	5単位以上	—	—	—
	こころとからだの理解	8	3	3	0
	小計	49	20	20	0
公民、数学、理科 又は家庭	人間と社会に関する選択 科目 (科目名：数学Ⅰ、家庭基 礎)	4	—	—	—
	小計	4	—	—	—
	合計	53	20	20	0

- (注) 1 本表は、各学年ごとに作成すること。
- 2 「学則上の単位数」には、学年ごとに組まれた授業科目の単位数を記入すること。なお、当該学  
年で行われなかった授業科目の「学則上の単位数」、「実授業単位数」には、「—」を記入すること。
- 3 各科目の単位数は、1単位時間を50分とし、35単位時間の授業を1単位として計算することを  
標準とする。
- 4 「実授業単位数」には、自習時間等を除いた単位数を記載すること。

(3年次)

教科	科目	指定規則上の単位数	学則上の単位数【a】	実授業単位数【b】	学則上の単位数との差【b-a】
福祉		単位	単位	単位	単位
	社会福祉基礎	4	—	—	—
	介護福祉基礎	5	3	3	0
	コミュニケーション技術	2	—	—	—
	生活支援技術	10	5	5	0
	介護過程	4	4	4	0
	介護総合演習	3	1	1	0
	介護実習	13	7	7	0
	(介護実習Ⅰの計)	—	—	—	—
	(介護実習Ⅱの計)	5単位以上	(7)	(7)	0
	こころとからだの理解	8	5	5	—
	小計	49	25	25	0
公民、数学、理科 又は家庭	人間と社会に関する選択科目 (科目名：数学Ⅰ、家庭基礎)	4	—	—	—
	小計	4	—	—	—
	合計	53	25	25	0

(注) 1 本表は、各学年ごとに作成すること。

2 「学則上の単位数」には、学年ごとに組まれた授業科目の単位数を記入すること。なお、当該学年で行われなかった授業科目の「学則上の単位数」、「実授業単位数」には、「—」を記入すること。

3 各科目の単位数は、1単位時間を50分とし、35単位時間の授業を1単位として計算することを標準とする。

4 「実授業単位数」には、自習時間等を除いた単位数を記載すること。

#### 4 前年度における教員及び実習指導者の異動の状況

区分	新任・退任の別	主任者	1人以上必要な教員		医療的ケアを担当する教員			実習区分	氏名	担当科目名
			介護	こころとからだのしくみ	基本研修	演習	実地研修			
必置教員	新任者									
	退任者									
その他の教員	新任者									
	退任者		○						森崎将伍	介護福祉基礎 コミュニケーション技術 社会福祉基礎 生活支援技術 介護過程
実習指導者	新任者							実習Ⅰ・実習Ⅱ		
	退任者							実習Ⅰ・実習Ⅱ		

- (注) 1 本表は、前年度4月2日から当該年度4月1日までの間における教員、その他の教員、実習指導者の異動の状況について記載すること。
- 2 「主任者」、「1人以上必要な教員」、「医療的ケアを担当する教員」(基本研修・演習・実地研修)には、該当するものにそれぞれ「○」を記載すること。なお、兼務している場合にあっては、兼務している全ての項目について「○」を記載すること。
- 3 「実習区分」には、該当するものを「○」で囲むこと。なお、実習Ⅰ及び実習Ⅱのいずれにも該当する場合には、実習Ⅰ及び実習Ⅱの両方を「○」で囲むこと。
- 4 「担当科目名」には、担当している科目の名称を記載すること。

#### 5 前年度における卒業生の状況

##### (1) 卒業生の状況

前々年度までの卒業生の累計 【a】	前年度の卒業生数 【b】	卒業生の合計 【a+b】
335	9	344

##### (2) 介護福祉士国家試験の受験状況

受験者数 【a】	合格者数 【b】	合格率 【b/a×100】
9	8	88.9

- (注) 1 本表は、福祉系高等学校等のみ作成すること。
- 2 「受験者数」には、前年度における卒業生のうち、介護福祉士国家試験の受験者数を記載すること。
- 3 「合格者数」には、前年度における卒業生のうち、介護福祉士国家試験の合格者数を記載すること。

(3) 前年度卒業生の進路

就職先		卒業生数
①居宅サービス事業所等（基準該当事業所を含む。）		0
②介護保険施設		3
③障害福祉サービス事業所（基準該当事業所を含む。）		0
④障害者支援施設		0
⑤保護施設		0
⑥児童福祉施設		0
⑦社会福祉協議会		0
⑧その他		0
⑨公務員	国	0
	都道府県	0
	市（区）町村	1
⑩医療機関		2
⑪他産業		0
⑫進学		3
⑬未就労		0
合計		9

- (注) 1 本表は、通信課程については省略できること。  
 2 「卒業生数」には、働きながら養成施設等に在籍している生徒であって、在籍時と同じ職場で働き続ける者も含むこと。  
 3 「合計」には、5の(1)のb欄と一致させること。  
 4 「居宅サービス事業所等」には、介護予防サービス事業所、地域密着型サービス事業所、介護予防地域密着型サービス事業所を含むこと。

6 その他添付資料について

当該年度4月1日現在の学則を添付すること。